

第7回「町の風景の未来を考える会」（箕輪町景観計画策定委員会）議事録

平成26年10月30日

18時30分～

於：大会議室

1. 開会（事務局）
2. 会長あいさつ
3. 協議事項

① 景観計画の基本理念について

委員長）事務局「基本理念(案)」の説明をお願いします。

事務局）では、読み上げます。

～基本理念（案）読み上げ～

委員長）それでは、意見をお願いします。

委員）短文バージョン（以下、「短文」と表記）について。文章の頭は丸印ではなく番号のほうが拾いやすい。また、「資源に磨きをかけて」とは？

事務局）例えば、バスツアーで見て頂いた番場の第一グランド駐車場です。眺めはよいが、斜面一面アレチウリでした。ちょっと手をかければさらに良くなる。そういったところでは。

委員）上段に書いてある前文がつながるのか？短文に付けるのはよいが、長文バージョン（以下、「長文」と表記）に前文はいらないのでは。長文の方が全部入っていて良いと感じる。

委員）それぞれの思いがあるので、長文か短文か皆さんの考えで決めたらどうか。もうちょっと皆さんの意見を聞きたい。

委員長）では、どちらが良いですか。

委員）短文なら、前文をつけて。長文ならそれだけで良いかなと。個人的にはどちらでも良い。

委員）基本としては前文プラス短文が良いかなと感じる。計画書のスタイルとしてはそちらが良いかと。

委員）長文が良いと思う。「〇〇してきます」というより、長文の方が語りかける

ようで良い。

委員) 前文を付け加えなければ長文でよいが、理念のからどのように分かれていくのか。

事務局) 短文も長文もこの先には「〇〇したい時は、届出をしてください」といったことが出てきます。一つ一つを細かくしてさらにどうするというではありません。

委員) 「うるおいある住みよい町」というような言葉を入れたらどうか。自分で理念について考えてきたので申し上げたい。

また、町内の細かい資源について理念の中に記載するのか、それとも別のところで記載するのか、ということもある。

委員) いろいろな人達、例えば幅広い年齢層に理解してもらうには、長文の方がよいのではないか。また人づくりという観点も重要ではないか。

委員) 短文を二つくらいつなげると良いのができるのでは。例えば、「町の魅力を再認識し」、「良好な景観形成」に向かっていくという姿勢が表現できる。

委員) 前文プラス短文ですっきりさせたい。

委員) 長文の方がイメージしやすい。

委員) どちらでも良いと感じるが、いくつかお聞きしたい。「作用するこれまでの協力関係」の「作用」はどのような意味合いか。「“ふるさと”を感じる」とはどのような意味合いか。「次世代」ではなく、「子どもたち」のような言い切りの表現にしたらどうか。

事務局) 「作用」については特に意図はありません。

委員) では、もう少し簡易な言葉にしたらどうか。

事務局) 検討します。「ふるさと」については主観的な表現をしています。

委員) それぞれが感じるふるさとというような意味か？

事務局) そうです。「次世代」については、子どももそうですが、例えば農業など知恵を持った人たちにいろいろな世代が学ぶという意味合いです。

委員) わかった。

委員) 皆さんの意見を聞いていると4つのパターンがある。一つ目は前文プラス短文。二つ目は長文のみ。三つ目はご自分でお考えになられたもの。四つ目は短文をつなげて新たなものを作る。このように捉えられるが、事務局として今日はどこまで決めるつもりなのか。

委員長) では、それについて事務局は説明をお願いします。

事務局) 今日ここでお聞きしたかったのは、ご自分が大事だと感じている言葉が入っているか、確認をして頂きたいと思います。

委員) 短文か長文か決めても良いと思うが。

委員長) では、もう一度基本理念(案)を見てください。

事務局) 皆さんの思いが入っているかご確認をお願いします。

委員) 私も自分で考えてきた。

委員) これから町は人口減少が問題となると予測される。人口問題も織り込み町の将来を見据えた文章にしたらどうか。

事務局) 検討します。

委員) 人口増加に景観計画の規制がどのように効いてくるのか、まだわからない面もある。景観は一つの魅力である。ここに戻ってきて働きたいとか、景観の活動に努力をしている人が報われているのか、魅力がきちんと伝わっているのか、考える必要がある。

委員) 町から出た子どもたちが帰って来られるような町だと良い。

委員) 事務局の説明のように、これから基準を検討するので最後にまた理念の案を出してもらえばよいと思うが、今後はどのような流れで検討を行うのか。

事務局) 今後の過程について資料を用意してあります。そちらを御覧いただきながら、次の検討事項へ入るということでよろしければ、準備をいたします。

委員長) では、今後の過程について資料の準備をしてもらうということで、基本理

念についてはまた案を提出ということをお願いします。

☆基本理念についてご自分でお考えになった委員さんの意見についても十分参考にさせていただきます。

② 地域区分について

委員長) では、事務局地域区分 (案) について説明をお願いします。

事務局) はい。

～地域区分案についての説明～

委員長) では、地域区分 (案) についてご意見を

以下、ランダムな発言につき、要点まとめ

■ 発言

委員より

- ・町内で重要と思われる地域について、別の範囲を設けることもどうか
- ・中央自動車道は設定しなくて良いか (他の規制との関係から)
- ・河川はもっと入れるべきでは (特段の理由がない限り)
- ・軸に設定をすることで面とどのように差が出るのか
- ・軸の設定しすぎは経済活動に支障を及ぼす懸念があるため慎重に

事務局より

- ・町内の重要な地域については景観形成重点地区という方法もあるが、(案) としては予定していない。必要に応じ検討を行う。
- ・軸については追加する道路があるか。また河川については町内の一級河川と縦の木川も対象としたい
- ・軸として設定すると面とは違った方針や基準を上乗せできるため、良好な景観へ誘導したい道路等あれば検討いただきたい
- ・都市計画区域の用途地域については、区画線をあわせてある
- ・都市計画マスタープランや国土利用計画も参考に検討いただきたい
- ・段丘林について軸とするかどうかの検討をしていただきたい (検討のため段丘を記載した図面を改めて用意する)

以上を踏まえて、各委員で検討し、次回以降協議とすることとした。

次回委員会は 11 月 26 日 (水) 18 時 30 分からを予定